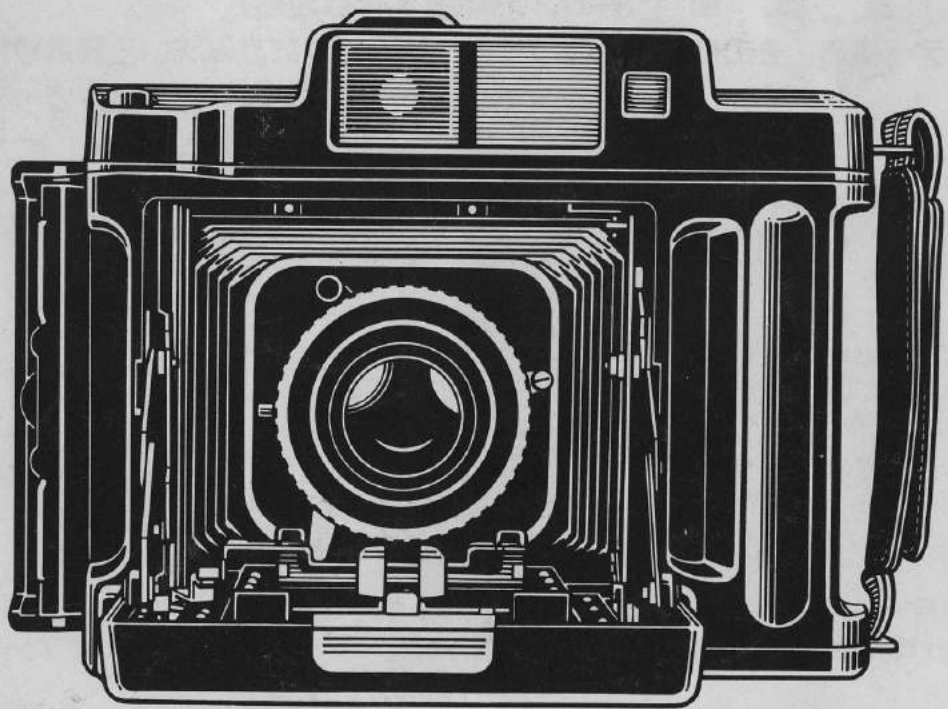




フオトラマ

FUJI INSTANT CAMERA FP-1 Professional



使用説明書

このたびは、弊社製品をお買上げいただきありがとうございます。この説明書には、フジ インスタントカメラFP-1 Professionalの使い方がまとめられています。内容をよくご理解の上、正しくご使用ください。

特 長

“フジ インスタントカメラFP-1 Professional”は、プロ・業務用途向けに開発された、ピールアパ^{はく}ートタイプ（剥離方式）インスタントフィルムを使用する、マニュアル調節インスタントカメラです。

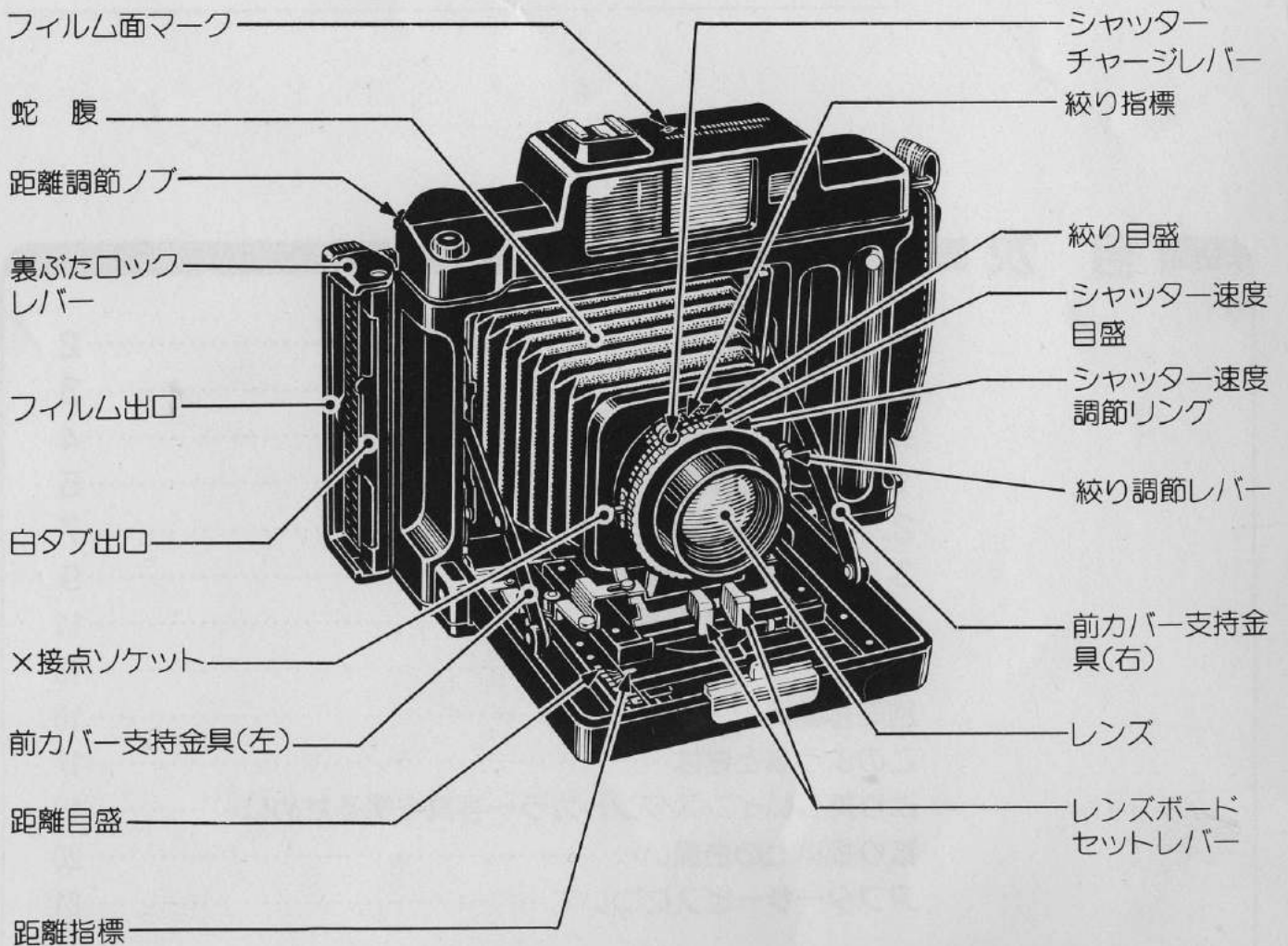
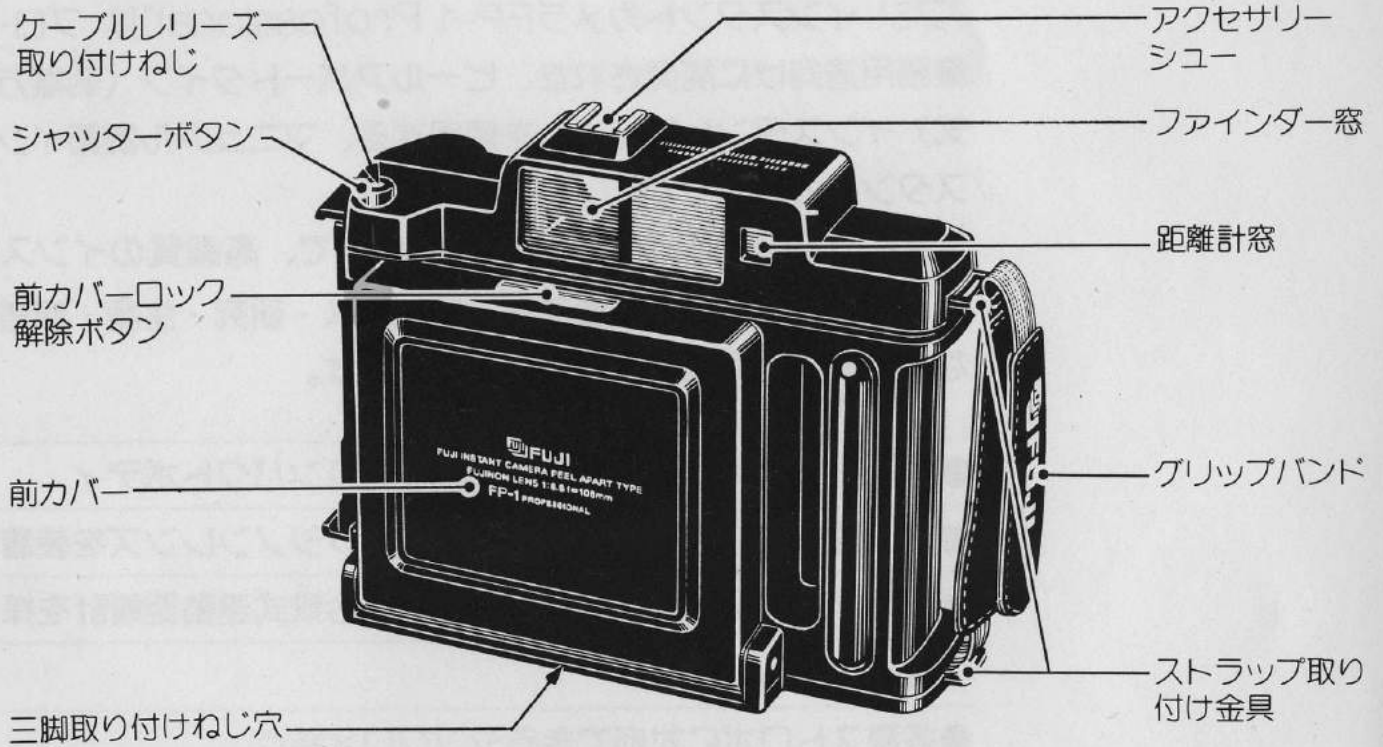
フォトドラマFPフィルムとの組み合わせで、高画質のインスタント写真が手軽に撮影でき、ビジネス・研究・生産・報道など、幅広い領域でご使用いただけます。

- 機動性を発揮する蛇腹折りたたみ式コンパクトボディ
- プロ写真家に広く認められた高性能フジノンレンズを装着
- 正確なピント合わせができる二重像合致式連動距離計を採用
- 各種ストロボに対応できるシンクロナイズド接点
- CRTフードをはじめ、充実したアクセサリー（別売）

目 次

特 長	2
各部の名称	3
主な仕様	4
1. カメラの準備	5
2. フィルムパックの装てん	7
3. 撮影準備	9
4. 撮影と現像	11
5. ローラーのクリーニング	15
別売付属品	16
このようなときは	17
より美しいインスタントカラー写真を撮るために	19
取り扱い上のお願ひ	20
アフターサービスについて	21

各部の名称

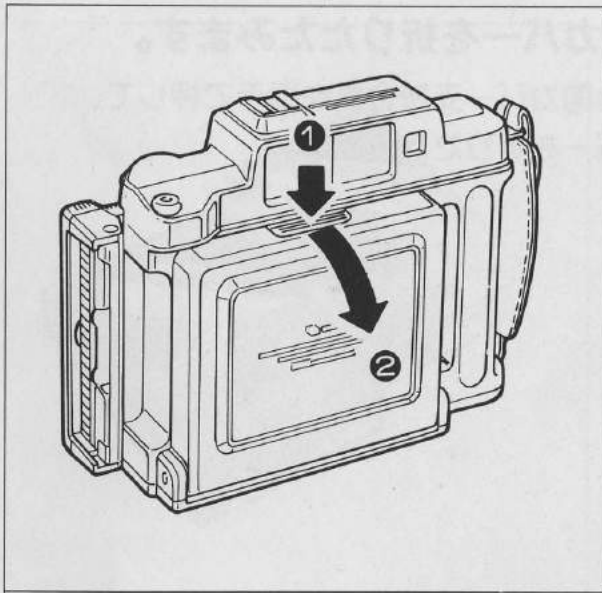


主な仕様

使用フィルム	フジ インスタントFPフィルム(8.5×10.8cmピールアパートタイプ) ●カラーフィルム：フジ インスタントカラーフィルム FP-100 ●白黒フィルム：フジインスタントB&WフィルムFP-3000B SUPER および同一サイズのインスタントフィルム 写真サイズ：8.5×10.8cm 画面サイズ：7.3×9.5cm
レンズ	フジノン 1:5.6 f=105mm 4群5枚構成 フィルターサイズ40.5φ(mm)
シャッター	メカニカルシャッター B.1~1/500秒 倍数系列 等間隔目盛 マニュアルセット 手動レバーチャージ式 ×接点ソケット
シャッターリリース	シャッターボタンによるメカニカルリリース、 ケーブルリリースソケット付
絞り ファインダー	F5.6~F64 1/3絞り刻み、マニュアルセット 採光式ブライトフレームファインダー、倍率0.6倍、 近距離補正マーク付、視野率90%以上(0.8m、∞)
距離計	二重像合致式連動距離計、基線長60.5mm、距離範囲0.8m~∞ 距離表示：0.8 1 2 3 5 10m ∞(レール部)
距離調節 ボデー構造・その他	背面ノブ調節(距離計連動) 前カバー開閉蛇腹折りたたみ式、三脚取り付けねじ穴付、アクセサリーシュー付、グリップバンド付、ストラップ取り付け部材付
寸法 重量 別売付属品	223×75(166)×164mm(折りたたみ時) 1,280 g フォト라마 ストラップFP-1 フォト라마 49φアダプターFP-1 フォト라마 フィルターホルダーFP-1 フォト라마 CRT14フードFP-1 フォト라마 CRT12フードFP-1 フォト라마 CRT7フードFP-1 フォト라마 CRT6フードFP-1

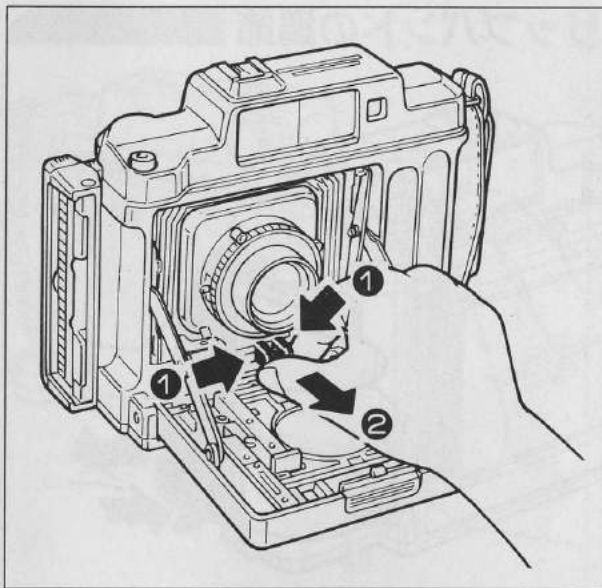
*仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承願います。

① カメラの準備



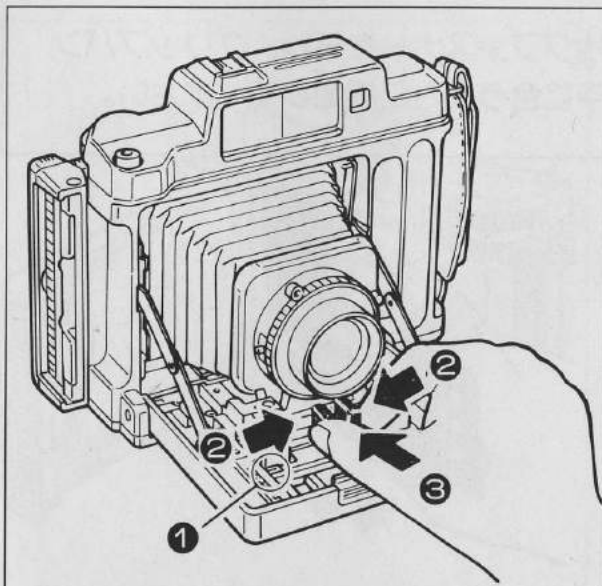
1. 前カバーを開きます。

- ①前カバーロック解除ボタンを押して、
- ②前カバーを開きます。



2. レンズボードをセットします。

- ①レンズボードセットレバーをつまんで、
 - ②ゆっくり、いっぱい引き出します。
- *このとき、レンズボードをつかんだり、蛇腹部分を押さえたりしないでください。

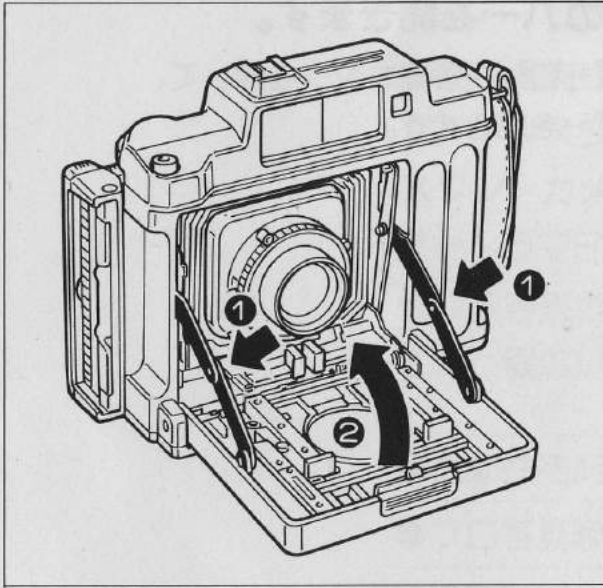


カメラのたたみ方

1. レンズボードを押し込みます。

- ①レンズが∞にセットされていることを確認後（11ページ参照）、
 - ②レンズボードセットレバーをつまんで、
 - ③レンズボードをいっぱい押し込みます。
- *レンズ前端に付属品が取り付けられていると、前カバーは折りたたみません。

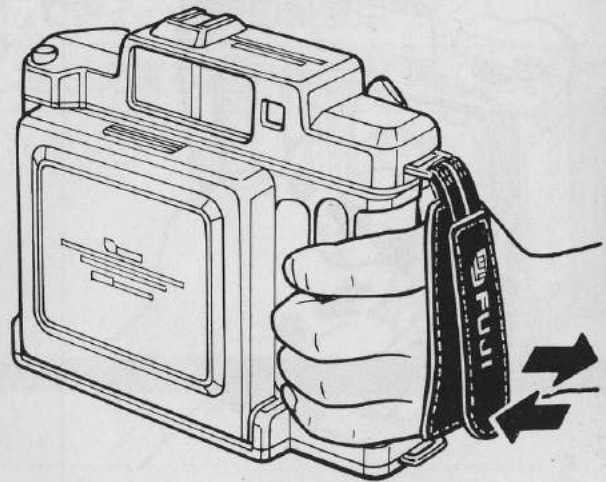
1 カメラの準備



2. 前カバーを折りたたみます。

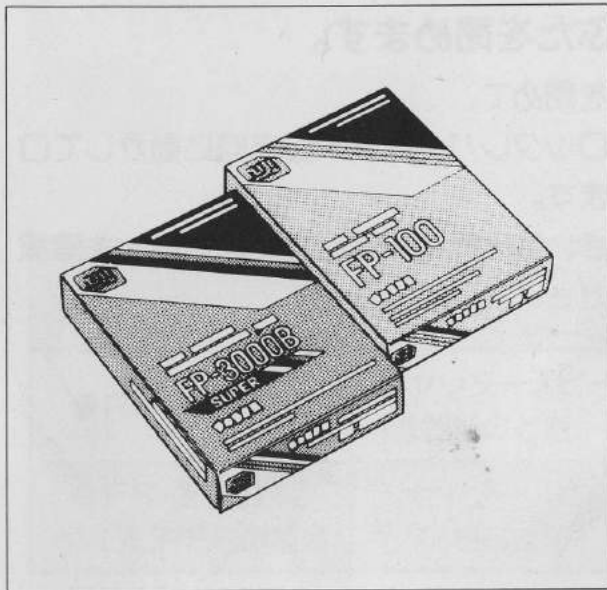
- ①左右の前カバー支持金具を両手で押して、
- ②前カバーを折りたたみます。

グリップバンドの調節



マジックファスナーを外し、グリップバンドを手に合う長さに調節してください。

② フィルムパックの装てん



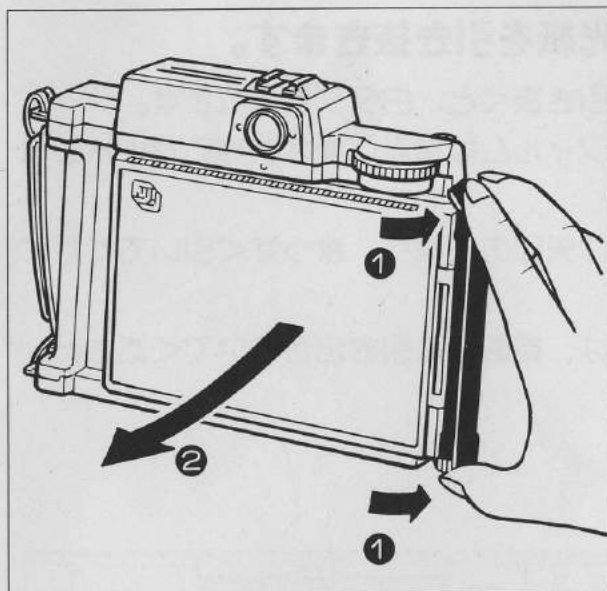
■使用するフィルム

フジ インスタントFPフィルム(8.5×10.8cmピールアパートタイプ(剥離方式))使用

●カラーフィルム：フジ インスタントカラーフィルムFP-100(写真感度ISO100)

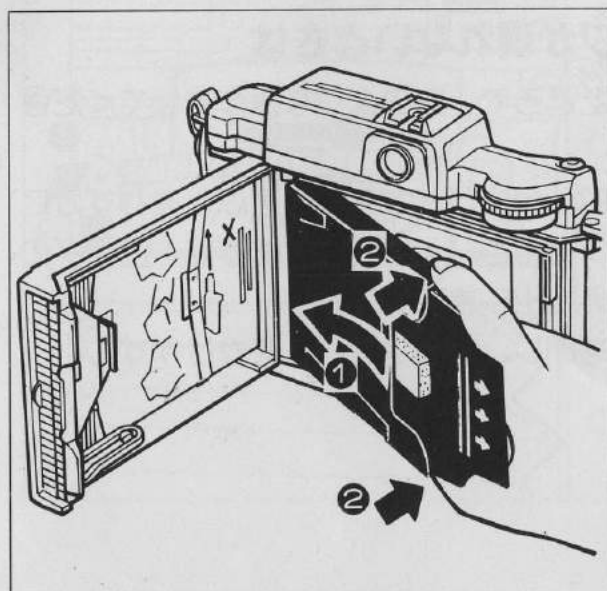
●白黒フィルム：フジ インスタントB&WフィルムFP-3000B SUPER(露光指数ISO 3200)

および同一サイズのインスタントフィルム



1. 裏ぶたを開きます。

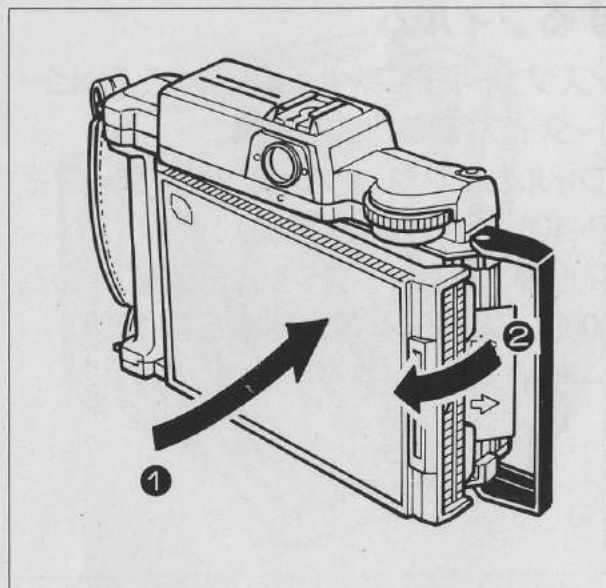
- ①裏ぶたロックレバーを矢印方向に開き、
- ②裏ぶたを開きます。



2. フィルムパックを入れます。

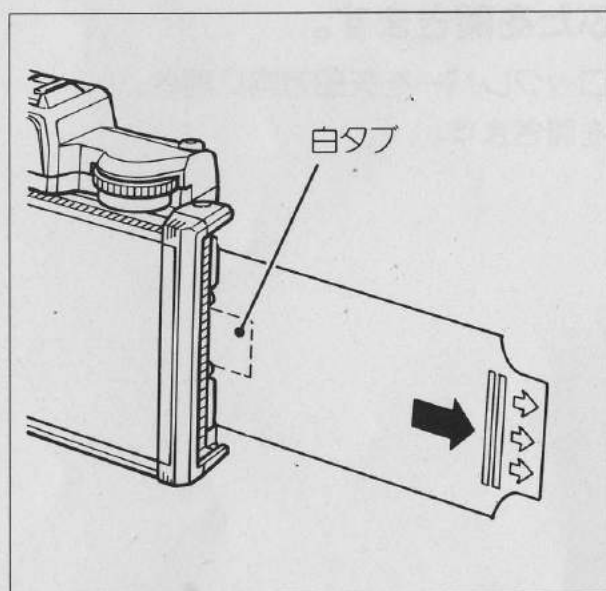
- ①フィルムパックは左側から先に入れ、左側に押し付けながら、
 - ②右側を奥まで押し付けます。
- *フィルムパックは、図のように側面をつかんでください。遮光紙を押さえないでください。
 - *フィルムパックとカメラの間に、白タブをはさみ込まないようご注意ください。
 - *現像ローラーを点検し、汚れがある場合は、きれいにしてください(15ページ参照)。
 - *直射日光のような強い光を避けて、装てんしてください。

② フィルムパックの装てん



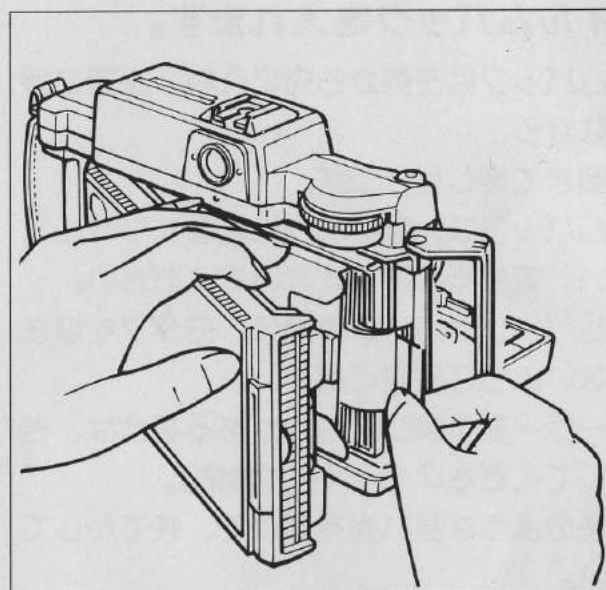
3. 裏ぶたを閉めます。

- ①裏ぶたを閉めて、
 - ②裏ぶたロックレバーを、矢印方向に動かしてロックします。
- *このとき、遮光紙の先端が出ていることを確認してください。



4. 遮光紙を引き抜きます。

- 遮光紙を引き抜くと、白タブが現れます。これで、フィルムは撮影可能な状態にセットされました。
- *遮光紙は矢印の方向へ、まっすぐ引いてください。
 - *白タブは、撮影前に引き出さないでください。



■白タブが現れないときは…

うす暗いところで、次のような操作をしてください。

- ①裏ぶたロックレバーを外し、裏ぶたをわずかに開き、フィルムパックを動かさずに、白タブの先端を外に出します。
- ②裏ぶたを閉じ、ロックレバーをかけます。

3 撮影準備

■ 露出の調節

* 絞り値とシャッター速度を手動調節して、露出を調節します。

* 露出の目安として、下表を参考にしてください。

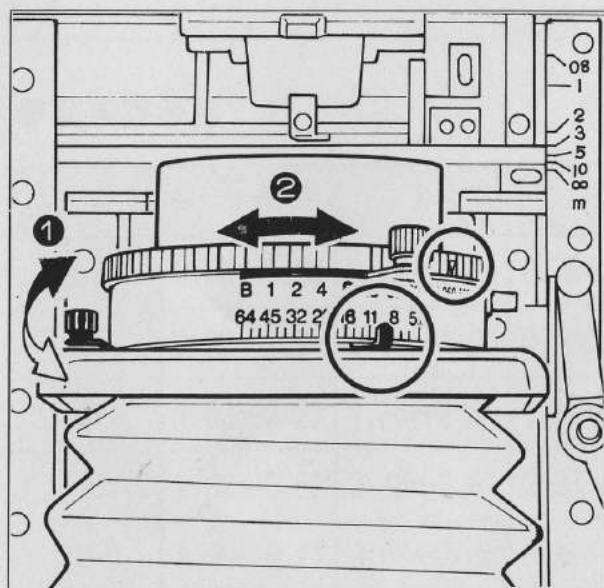
		快晴時の 海・山	快 晴	晴	明るい曇	曇・日陰
●FP-100の場合	シャッタースピード 1/125秒のとき	f/22	f/16	f/11	f/8	f/5.6
●FP-3000B SUPERの場合	シャッタースピード 1/500秒のとき	f/64	f/45	f/32	f/22	f/16

* 正確な露出の決定には、市販されている露出計をご使用ください。

* 露出の測定は、露出計の使用説明書に従ってください。

* 下表のフィルム感度を、露出計にセットしてご使用ください。

フジ インスタントカラーフィルム FP-100	ISO 100
フジ インスタントB&Wフィルム FP-3000B SUPER	ISO 3200



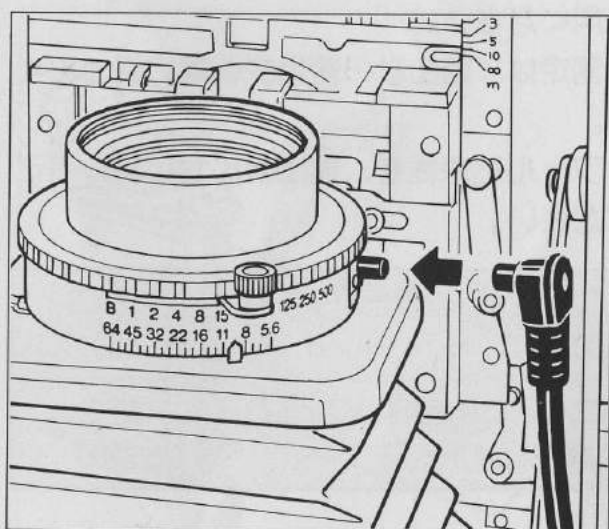
1. 絞りとシャッター速度の調節

- ① 絞り調節レバーを動かして、所定の絞り値に合わせます。
- ② シャッター速度調節リングを回して、所定のシャッター速度に合わせます。

3 撮影準備

■ストロボ撮影

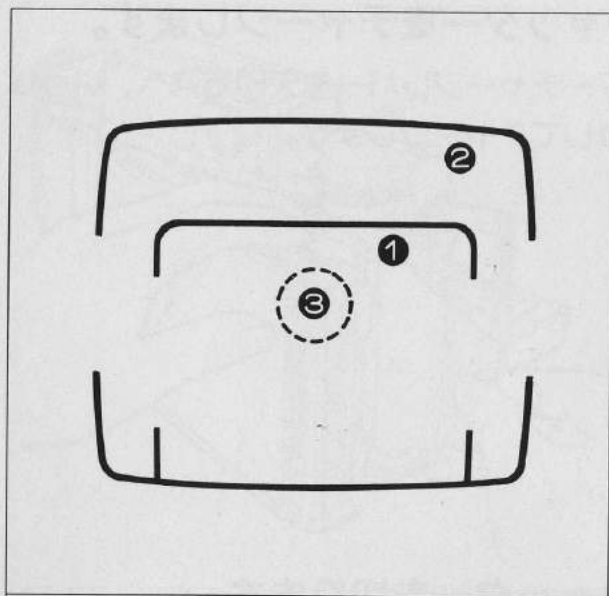
- * ストロボ撮影には、市販ストロボをお使いください。
- * 市販ストロボのうち、ストロボ光が標準的な色味(色温度5500K)のものをお奨めします。
- * AUTO(自動調光)で撮る場合は、ストロボの説明書に指示されている絞り値で撮影してください。
- * マニュアルで撮る場合は、ストロボのガイドナンバーと撮影距離から絞り値を計算してセットしてください。
- * 詳しくは、ストロボの使用説明書に従ってください。



■シンクロコードの接続

- ストロボとカメラのX接点ソケットを、シンクロコードで接続します。
- * このカメラのアクセサリースューは、ホットシュータイプ(X接点付き)ではありませんから、ストロボをアクセサリースューに取り付けた場合にも、シンクロコードによる接続が必要です。
 - * M級バルブ使用時は、シャッター速度を $\frac{1}{30}$ 秒または以下の遅い速度に合わせてください。

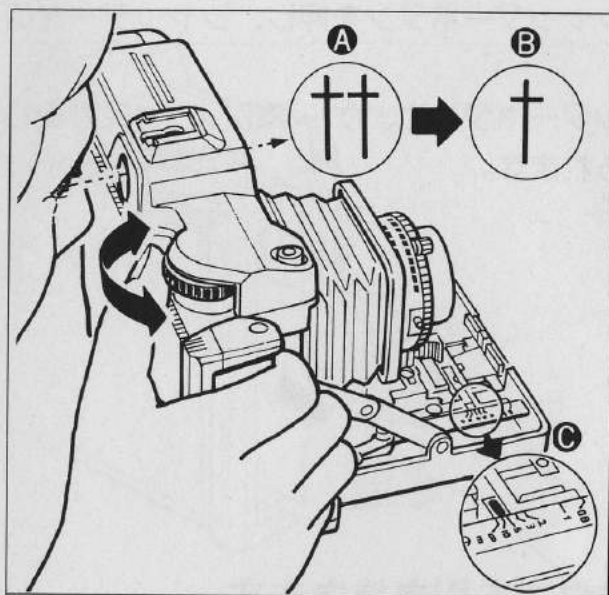
④ 撮影と現像



1. ファインダーをのぞいて

近づいて(0.8m)写すときは内側のフレーム内①が、離れて(3m以上)写すときは外側のフレーム②内が写ります。

中央部③が距離計の二重像合致部になっています。



2. 距離を調節します。

距離調節ノブを右に回すとレンズが繰り出され、より近距離にピントが合うようになります。距離調節ノブを左右に回して、ファインダー距離計部に、二重に見える被写体像Aが一致すればB、その被写体にピントが合ったこととなります。

撮影距離は、指標が指す距離目盛りCで読み取れます。

* 撮影距離はフィルム面マークからの距離です。

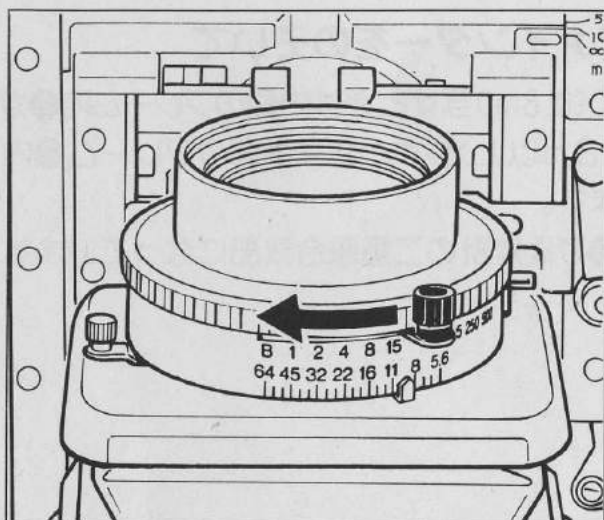
●被写界深度

f = 105mm δ = 0.10

距離 \ F	5.6	8	11	16	22	32	64
0.8	0.78~0.83	0.77~0.84	0.76~0.85	0.74~0.88	0.72~0.91	0.68~0.97	0.60~1.27
1	0.96~1.04	0.94~1.06	0.93~1.09	0.90~1.14	0.86~1.20	0.81~1.32	0.69~2.01
2	1.83~2.21	1.76~2.31	1.69~2.46	1.58~2.75	1.47~3.22	1.31~4.51	0.99~ ∞
3	2.62~3.52	2.48~3.81	2.33~4.24	2.12~5.24	1.92~7.34	1.65~22.8	1.16~ ∞
5	3.99~6.71	3.68~7.86	3.35~10.04	2.92~18.80	2.53~ ∞	2.08~ ∞	1.35~ ∞
∞	19.8~ ∞	13.9~ ∞	10.1~ ∞	7.00~ ∞	5.12~ ∞	3.55~ ∞	1.83~ ∞

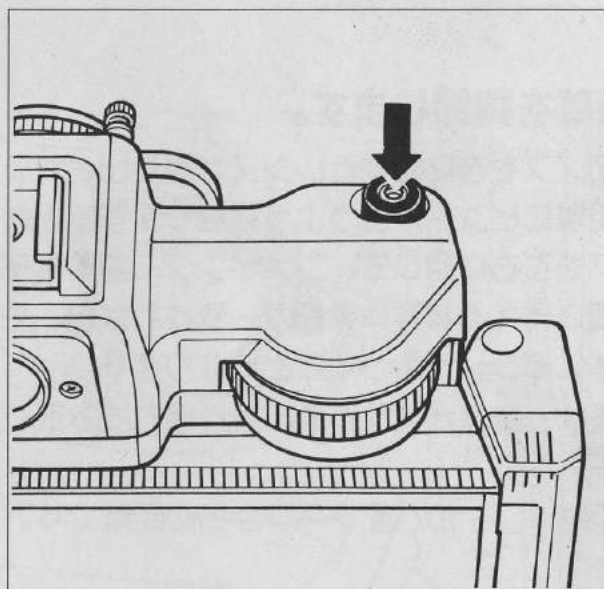
(単位: m)

4 撮影と現像



3. シャッターをチャージします。

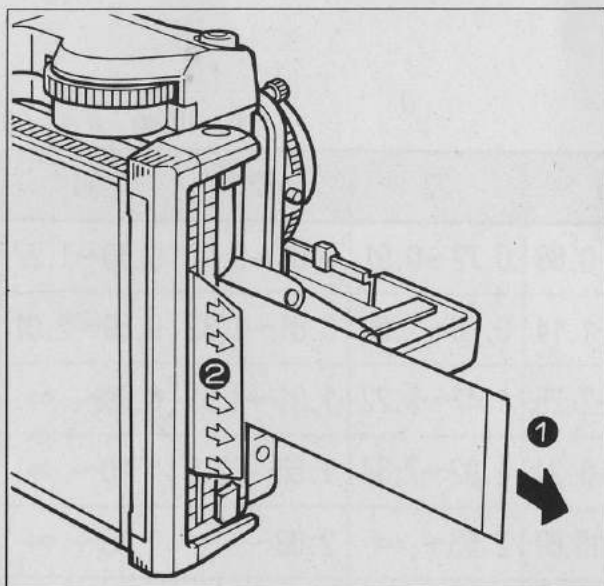
シャッターチャージレバーを矢印方向へ、いっばいに動かしてチャージします。



4. シャッターを切ります。

静かにシャッターボタンを押し、シャッターを切ります。

*シャッターボタンに、ケーブルリリースが取り付けられます。



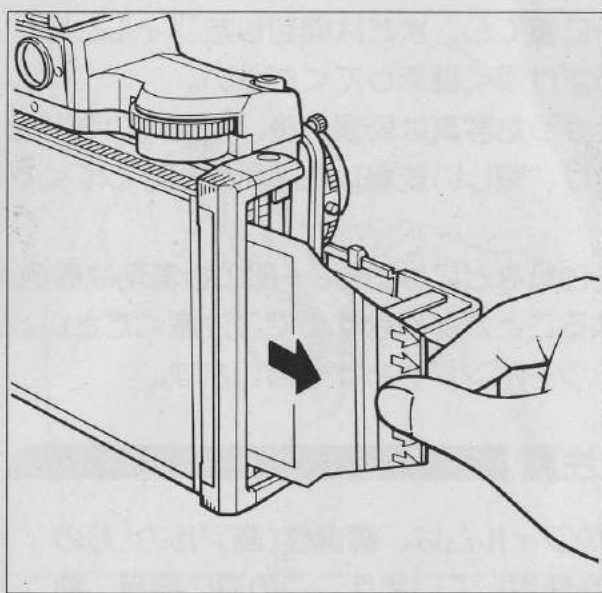
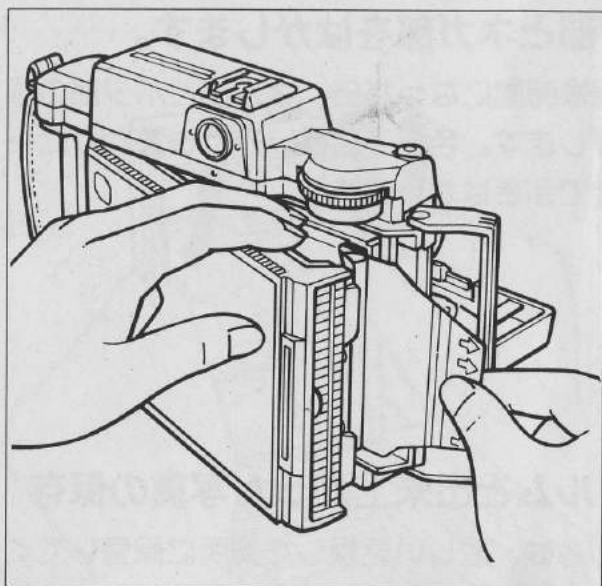
5. 白タブを引き抜きます。

①白タブをまっすぐ引き抜くと、②色タブが現れます。

*同時に二枚の白タブを引かないでください。

*白タブを引くとき、色タブの出口を押さないでください。

*色タブが現れない場合、別の白タブを引かないでください。



●FP-100使用時は

35°C	30°C	25°C	20°C	15°C
60秒	75秒	90秒	120秒	180秒

●FP-3000B SUPER使用時は

24~35°C	20°C	18°C	15°C	10°C
30秒	40秒	50秒	60秒	90秒

■色タブが現れないときは

うす暗いところで、下記の操作をしてください。

*絶対に別の白タブを引かないでください。

- 1.裏ぶたをわずかに開き、指でフィルムパックを押えます。
 - 2.フィルムパックが動かないように軽く押えながら、一番手前の色タブを取り出し、そのフィルムを捨てます。
- 開いている間に、ローラーが汚れていないことを確認してください。汚れている場合は、ローラーやその付近をクリーニングします。
 - 次の白タブが出ていることを確認してから裏ぶたを閉じます。

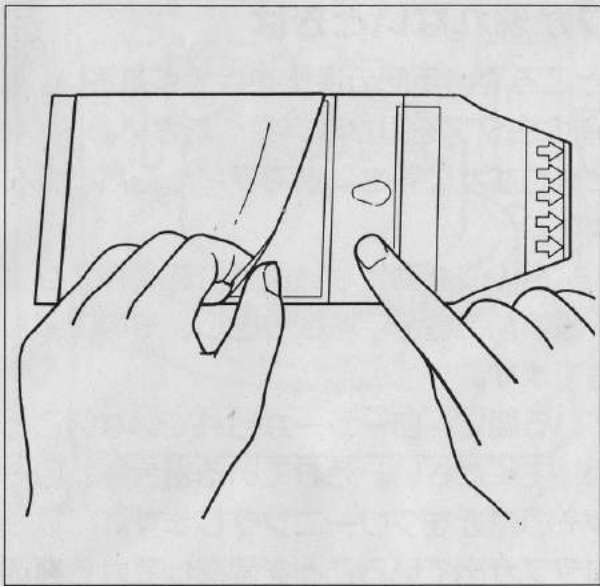
6. 色タブを引き抜きます。

- 色タブの中央をつまみ、フィルム出口に対して水平に、まっすぐに、ゆっくりと一定の速度で引き出します。曲がった方向に引き抜いたり、途中で止めたりしますと、現像液がもれたり、画面に現像液が行き渡らなかつたり、またはむらを生ずることがあります。
- フィルムを引き出したら、すぐに現像時間をはかります。現像中フィルムをこすったり、もんだり、一部をはがしたりしないでください。むらを生ずることがあります。

■現像時間と温度

- このフィルムは、温度によって現像時間が異なります。
- フィルムをカメラから引き出した直後から、ネガ部とポジ部を引きはがすまでの時間は、表の指定時間を守ってください。
- 現像時間が指定時間より短い場合、または3分以上の場合は良い写真が得られなかつたり、むらや外見上、好ましくない写真に仕上がることがあります。
- このフィルムは、15°Cから35°Cの温度でご使用ください。25°Cのとき、最良の写真が得られます。

4 撮影と現像



■ポジ部とネガ部をはがします。

指定の現像時間になったら、ネガ部とポジ部の写真をはがします。色タブに近い方から速やかに一定の速度で引きはがします。

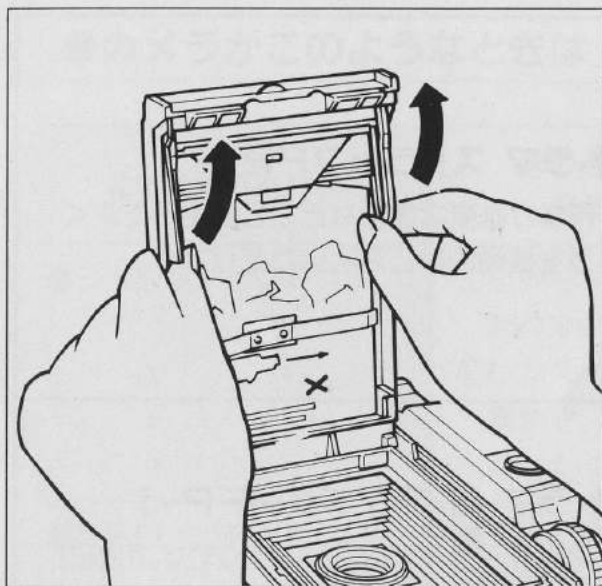
■フィルムと出来上がった写真の保存

- フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。長期間の場合は、冷蔵保存をおすすめします。
- カメラに装てん、または開封したフィルムは、できるだけ早く撮影してください。
- 出来上がった写真は乾燥の後、長時間の強い光から避け、涼しい乾燥した場所に保存してください。
- 写真を台紙などにはる際、一部の接着剤は着色・変色することがありますのでご注意ください。フジカラーボンドをおすすめします。

■ご注意

- このフィルムは、腐食性(高アルカリ)の液を使用しています。この液に直接、触れないようにしてください。
- 万一、この液が皮膚などについたときは、速やかに水で充分洗ってください。また、目や口に入った場合は、直ちに多量の水で充分に洗った後、医師の診療をうけてください。
- 不要になったネガは、内側に折りたたんで捨ててください。また、その他のものも含め捨てる場合は、子供、動物だけでなく書類、衣類、家具などにふれないようご注意ください。

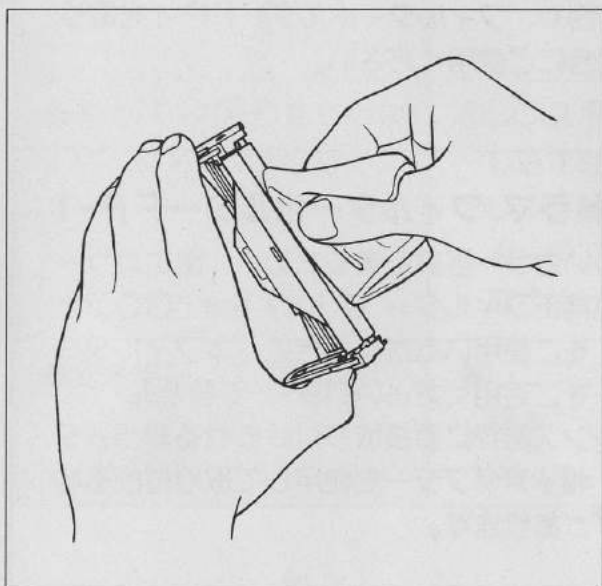
⑤ ローラーのクリーニング



裏ぶたの内側にある2本のローラーは、現像剤などで汚れることがあります。ローラーが汚れると、現像剤が均一に広がらなくなり、美しい写真が得られなくなります。また、色タブの先端がうまく出なくなることもあります。フィルムパックを入れるとき、ローラーに汚れがないことを確認してください。

1. ローラーの外し方

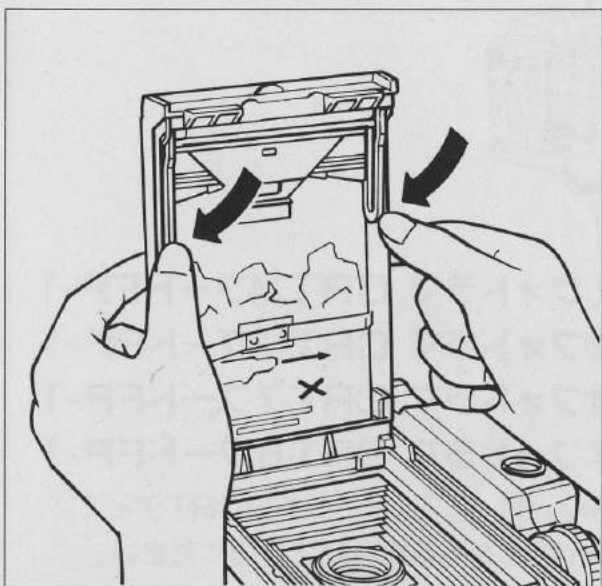
親指で両側のローラーリング(U字型)を上を持ち上げて外します。



2. ローラーなどのふき方

乾いた布か、わずかに湿らせた布でローラーをふきます。硬いものでローラーを、こすらないでください。2本のローラーを回転させて、全周きれいになったことを確かめます。

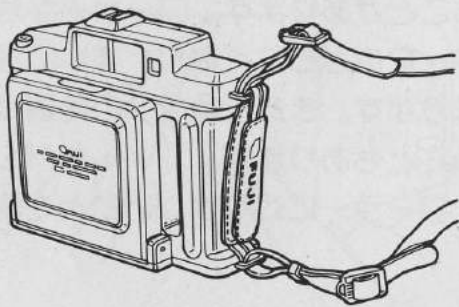
ローラーの周囲および色タブの出口付近も汚れがある場合は、きれいにしてください。



3. ローラーの取り付け

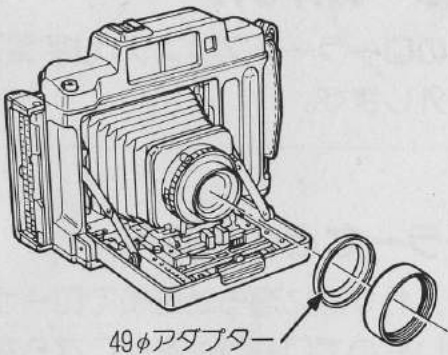
ローラーを色タブ出口の方向に押しつけて、ローラーリングを押えると、「パチッ」と音がして取り付けられます。

別売付属品



●フォトラマ ストラップFP-1

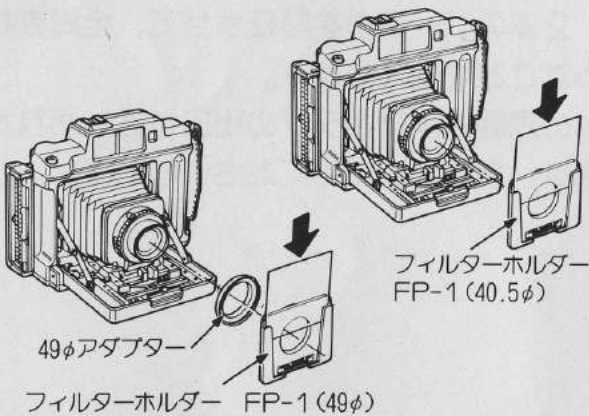
特に両手作業が必要な場合などにご使用いただくと、カメラを機動的にご活用いただけます。



49φアダプター

●フォトラマ 49φアダプターFP-1

本機のフィルターサイズは40.5φ(mm)です。市販の49φフィルターやクローズアップレンズを活用いただく場合や、フィルターホルダーFP-1を取り付ける場合にご使用ください。



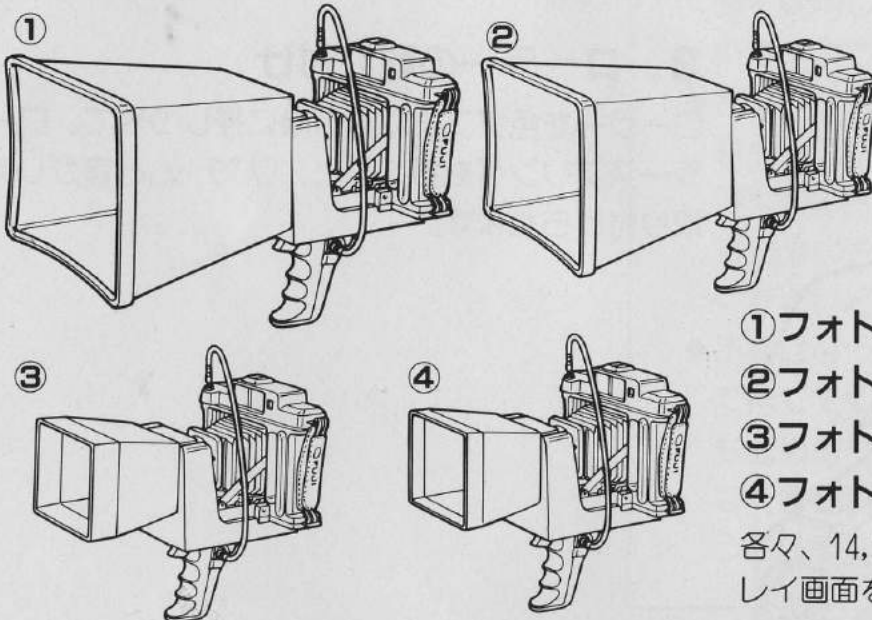
49φアダプター

フィルターホルダー
FP-1 (40.5φ)

フィルターホルダー FP-1 (49φ)

●フォトラマ フィルターホルダーFP-1

より美しいカラー写真を撮るために、富士カラー撮影用色補正フィルター (7.5×7.5cm・CCフィルター) をご使用いただくときに、本フィルターホルダーをご活用ください(19ページ参照)。カメラレンズ前枠に直接取り付けられる40.5φタイプと、49φアダプターを使用して取り付ける49φタイプがあります。



①フォトラマ CRT14フードFP-1

②フォトラマ CRT12フードFP-1

③フォトラマ CRT7フードFP-1

④フォトラマ CRT6フードFP-1

各々、14,12,7,6インチのCRTディスプレイ画面を撮る場合にご活用ください。

このようなときは

●カメラがこのようなときは

このようなときは	次のようなことが考えられます	このようにしてください	参照ページ
●シャッターが切れない。	①シャッターチャージが行われていない。 ②レンズボードが所定の位置まで、引き出されていない。	①シャッターをチャージしてください。 ②レンズボードをいっぱい引き出してください。	9 5
●ストロボが発光しない。	●ストロボとカメラのX接点ソケットが、シンクロコードで接続されていない。	●シンクロコードの接続を確かめてください。	10
●前カバーが折りたためない/確実に閉まらない。	①レンズボードが奥まで押し込まれていない。 ②レンズ前面に49φアダプターやフィルターなどが取り付けられている。	①レンズボードを確実に奥まで押し込んでください。 ②49φアダプターやフィルターなどを外して、折りたたんでください。	5 5
●距離調節ノブが動かない。	●レンズボードが所定の位置まで引き出されていない。	●レンズボードをいっぱいに引き出してください。	5

このようなときは

●出来上がった写真がこのようなときは

このようなときは	次のようなことが考えられます	このようにしてください	参 照 ページ
●出来上がった写真が暗い。	①セットした絞りやシャッター速度が適切でない。	①絞りを開くか、またはシャッター速度を遅い方に合わせ直してください。	9
	②ストロボ撮影時の距離が遠い。または、絞り値セットが適切でない。	②ストロボに合った撮影距離または絞りで撮影してください。	10
●出来上がった写真が白っぽい。	●セットした絞りやシャッター速度が適切でない。	●絞りを閉めるか、またはシャッター速度を速い方に合わせ直してください。	9
●写真に細かい白点が見れる。	●色タブの引き方が早すぎる。	●色タブは速く引かないでください。遅くてもむらが出ることがあります。	13
●写真に長方形の物が見れる。	●白タブが完全に引き抜かれずに残っていた。	●白タブを最後まで完全に引き抜きます。	12
●写真に25mm間隔の白い斑点が見れる。	●ローラーが汚れている。	●ローラーのクリーニングを行います。	15
●写真の隅の部分が欠けている。	①白タブや色タブがまっすぐ引かれなかったため、現像液が画面全体に均一に広がらなかった。	①白タブや色タブはまっすぐ引きます。	12、13
	②ローラーの端に現像液が付着していた。	②ローラーのクリーニングを行います。	15
●黒白がはっきりしない黒白写真／淡い色のカラー写真	①規定の時間通り、現像されなかった。	①規定の時間通り現像します。	13
	②現像温度が低かった。	②15℃から35℃の温度でご使用いただくと良い写真が得られます。	13
●全体に赤味がかかった写真	●現像時間が短すぎた。	●規定の時間通り現像します。	13

より美しいインスタントカラー写真を撮るために

インスタントカラーフィルムは、適正な条件下での撮影時にその性能を発揮します。やむをえず下記の不適正な条件下で撮影する場合は、色補正フィルターをご使用ください。

1. 撮影光源の色温度

フジ インスタントカラーフィルムFP-100はデイトライタイプ(色温度5500K)で、色バランスを太陽光(晴天昼光)および標準的なストロボ光に合わせられています。

タングステンランプやハロゲンランプなどは色温度が低いので、黄赤味の写真になります。色温度を5500Kにするには、色温度上昇用のLBBフィルター(LBB2~16)が必要です。

また、太陽光でも朝夕では色温度上昇用のLBBフィルター(LBB2~4)が、日陰では色温度下降用のLBAフィルター(LBA2~4)が必要です。

2. ストロボの色味

ストロボの色味にかたよがりがあるときには、CCフィルターを使って色補正する必要があります。また、発光管やディフューザーが焼けたり、汚れたりすると色温度上昇用のLBBフィルター(LBB2~4)が必要になります。

3. 色反射

天井、壁、背景、床など、周囲に色がついており、反射による影響を受ける場合には、CCフィルター(CC2.5~10)を使って色補正する必要があります。

4. 相反則不軌特性

露光時間が長くなると相反則不軌により、感度および色バランスが変わります。その場合は、次表をめやすに補正してください。

フィルム名	色温度	補正方法	露光時間(秒)		
			1/100	1/10	1
FP-100	5500K 180 ミレッド	露光補正 (絞り)*	-	+ $\frac{1}{3}$	+ $1\frac{1}{3}$
		フィルター 補正	-	5Y	20Y

(+は絞りを開く方向)

5. 現像温度

FP-100は、15°Cから35°Cの間で使用します。25°Cのときに最良の写真が得られますが、低温または高温で使用するときは、次表をめやすに補正してください。

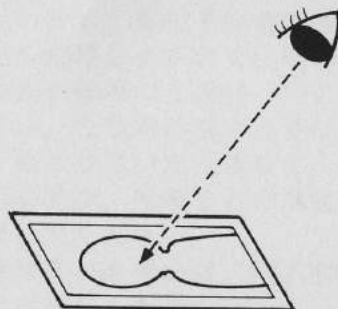
フィルム名	補正方法	使用温度(°C)				
		15	20	25	30	35
FP-100	露光補正 (絞り)*	-	-	-	+ $\frac{1}{3}$	+ $\frac{2}{3}$ ~1
	フィルター 補正	5B	-	-	5G	5G+5Y

(+は絞りを開く方向)

●色補正フィルターによる色バランスの決め方

撮影した写真の色バランスがくずれている場合、フィルターを写真にのせて見ることにより、どのフィルターを使用したらよいかを簡便に決めることができます。

用意するフィルターは、加色法3原色R・G・Bと、減色法3原色C・M・Yおよび色温度変換フィルターです。



写真の上にフィルターをのせ、ちょうど良い色であれば、その2倍濃度値(例)5番で良好な場合は10番)のフィルターを使って撮影します。

*写真は明るく、かつ演色性(色)のよい照明光下で観察してください。

取り扱い上のお願い

-
- ①カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
-
- ②長期間、お使いにならないときは、湿気、熱、ほこりの影響の少ない所に保管してください。
-
- ③レンズ、ファインダーなどが汚れたら、ブローブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふき取ってください。このとき、絶対にアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使わないでください。
-
- ④閉めきった自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
-
- ⑤カメラが故障したときは、絶対に自分で分解しないでください。
-
- ⑥通常5,000回をショットしますと、シャッターの秒時が不正確になり、露出のばらつきを生じたり、また、ローラーの精度が悪くなります。ショット数が5,000回を越えましたら、オーバーホールに出してください(有料)。
-

アフターサービスについて

お手持の製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または弊社フジサービスステーションに直接お申し出ください。なお、保証、使い方などご不明の点につきましても、裏面記載のお近くの弊社営業所やフジサービスステーションをご利用ください。

●無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理をさせていただきます。

※詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き替えられている場合。
3. フジサービスステーション以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取り扱い上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かびの発生など）により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除など特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くのフジサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間

フジインスタントカメラFP-I Professionalの補修用部品は、10年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くのフジサービスステーションにお問い合わせください。

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店やフジサービスステーションの窓口で、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「〇〇〇〇円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは、9,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少異なりますが、嚴重な調整検査を行いますので普通修理品の場合はフジサービスステーションで、お預りしてから通常7～10日位をご予定ください。



富士写真フイルム株式会社

東京都港区西麻布2-26-30 〒106

●製品についてのお問い合わせ、修理の受付は…

富士フイルム東京販売部
富士フイルム大阪支社
富士フイルム札幌営業所
富士フイルム仙台営業所
富士フイルム新潟事務所
富士フイルム名古屋営業所
富士フイルム金沢事務所
富士フイルム広島営業所
富士フイルム高松事務所
富士フイルム福岡営業所

〒106 東京都港区西麻布2-26-30
〒541 大阪市東区備後町4-15
〒060 札幌市中央区北二条西4-2 札幌三井ビル別館
〒980 仙台市一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル
〒951 新潟市本町通7番町1153 日本信販新潟ビル
〒460 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル
〒920 金沢市高岡町1-39 住友生命金沢高岡町ビル5F
〒730 広島市中区小町3-25 住金物産広島ビル
〒760 高松市亀井町8 日産生命グリーンビル
〒812 福岡市博多区住吉3-1-1

TEL (03)406-2831
TEL (06)205-6488
TEL (011)241-7164
TEL (022)265-2121
TEL (0252)23-7731
TEL (052)203-5261
TEL (0762)63-3466
TEL (082)246-0902
TEL (0878)34-8355
TEL (092)281-0231

●修理の受付は…

富士フォトサロン 東京
富士フォトサロン 大阪
東京フジサービスステーション
横浜フジサービスステーション
大阪フジサービスステーション
名古屋フジサービスステーション
静岡フジサービスステーション
鹿児島フジサービスステーション

〒104 東京都中央区銀座5-1先 スキヤ橋センター
〒530 大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル3F
〒105 東京都港区浜松町2-5-5 松井ビル本館
〒231 横浜市中区相生町4-69 和孝ビル
〒540 大阪市東区大手通り1-3 信和商事ビル
〒460 名古屋市中区門前町2-1 コテドールビル
〒420 静岡市栄町1-5 殖産ビル
〒892 鹿児島市新屋敷町16 公社ビル

TEL (03)571-9411
TEL (06)346-0222(第2火曜日のみ休み)
TEL (03)436-1315
TEL (045)662-2231
TEL (06)944-0908
TEL (052)322-5480
TEL (0542)55-2465
TEL (0992)26-2515

日曜、祝日および土曜日は原則
として休ませていただきます。